

3 国際スポーツ大会の誘致・開催

東京2020大会の運営経験と、競技施設の魅力を最大限に発揮し、積極的に国際スポーツ大会の更なる誘致・開催を推進していく。

(1) 各種スポーツ大会・スポーツイベント（令和3年度実績・令和4年度予定）

事業（イベント）名		掲載ページ
①	東京マラソン2023	225
②	マラソン祭り	226
③	東京レガシーハーフマラソン2022	227
④	GRAND CYCLE TOKYO	228

① 東京マラソン2023

概要

東京マラソンは、東京の魅力を国内外に発信するとともに、スポーツ振興や地域活性化の契機とすることを目的に、国内外からのランナーをはじめ、ボランティアや沿道の観衆など多くの人が参加し、「東京がひとつになる日。」として開催されている。

また、平成24年にはアボット・ワールドマラソンメジャーズに加入し、世界6大マラソンの一つとして認定されるなど、名実ともに世界最高峰の大会に成長。

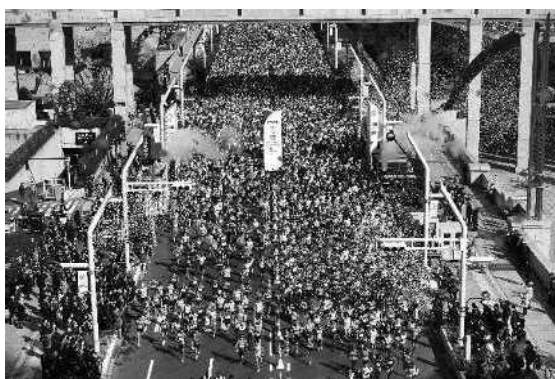
※ 一般財団法人東京マラソン財団（主催）との共催により実施

【東京マラソン2023】

- ・日 程 令和5年3月5日（日）
- ・定 員 マラソン 3万7,500人 10.7km 500人



©東京マラソン財団



©東京マラソン財団

・コース

東京都庁～水道橋～上野広小路～神田～日本橋～浅草雷門～両国
～門前仲町～日比谷～東京駅前・行幸通り
(日本陸上競技連盟・WA/AIMS公認コース)

【東京マラソンEXPO2023・ランナー受付】

- ・日 程 令和5年3月2日（木）～3月4日（土）



©東京マラソン財団

令和3年度実績（東京マラソン2021）

- ・日 程 令和4年3月6日（日曜日）
 - ・出走者 マラソン 19,057人 10km(10.7km) 131人
 - ・完走者 マラソン 18,272人（完走率 95.9%）10km（10.7km）127人（完走率 96.9%）
- 東京マラソン2021は、令和3年3月から同年10月に日程変更し、更に令和4年3月に延期のうえ、ランナーの定員を2万5,000人にして開催した。

【東京マラソンEXPO2021・ランナー受付】

- ・日 程 令和4年3月3日（木曜日）～3月5日（土曜日）

② マラソン祭り

概要

東京マラソンを「単なる大規模マラソンにとどめることなく、東京の魅力を世界に発信できる祭典にしていく」という理念の下、東京マラソンの開催に合わせ、地域の人々が参画した様々なイベントを展開する。

- ・ランナー応援イベント（東京マラソンコース沿道における音楽演奏、ダンス、伝統芸能等のパフォーマンスによる応援）
- ・メイン会場イベント（スポーツ体験、観覧イベント等の実施）

※ 具体的な実施内容については、新型コロナウイルス感染症の最新の状況を注視しつつ、国や東京都の最新の方針や基準を踏まえたものとする。

令和3年度実績

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から開催中止

③ 東京レガシーハーフマラソン2022

概要

東京2020大会のレガシーを末永く残していけるよう、パラリンピックマラソンコースを活用した「東京レガシーハーフマラソン」を、一般財団法人東京マラソン財団とともに2022年秋に創設。

本大会は、障害のある方を含め、一般ランナーからエリート選手まで多くのランナーが参加しやすいハーフマラソン大会とし、第1回をI O Cと協力して「セレブレーションマラソン」として実施。あわせて、I O Cが、子供たちとトップレベルのアスリートが交流し、オリンピックの価値を体験できるスポーツイベント「Thank you Tokyo!」を開催する。

※ 東京レガシーハーフマラソンについては、一般財団法人東京マラソン財団（主催）との共催により実施

【東京レガシーハーフマラソン2022】

- ・日 程 令和4年10月16日（日） ※以降、毎年10月第3日曜日に開催
- ・定 員 1万5,000人
- ・コ ー ス 国立競技場スタート～富久町～水道橋～神保町～神田～日本橋
（第1折り返し）～神田～神保町～大手町・内堀通り（第2折り返し）～神保町～水道橋～富久町～国立競技場フィニッシュ（日本陸上競技連盟公認コース、WA認証コース）



©東京マラソン財団

【東京レガシーハーフマラソンEXPO 2022・ランナー受付】

- ・日 程 令和4年10月14日（金）、15日（土）

令和3年度実績

令和4年度が初回大会のためなし

④ GRAND CYCLE TOKYO

概要



環境にやさしく、健康にもよい自転車を更に身近なものとするため、「GRAND CYCLE TOKYO」という名前の下、様々な自転車に関するイベント等を進めていくこととした。

その第一弾として、令和4年11月23日（水・祝）に臨海部において自転車ライドイベントとスポーツ体験イベントを開催予定。

また、東京2020大会で実際にロードレース会場となった多摩地域における自転車の大会開催を目指し、計画策定を進めている。

(1) レインボーライド（自転車ライドイベント）

- ・事前申込み制
- ・定員 約3,000人
- ・コース（右図ほか全4コース）

(2) マルチスポーツ（スポーツ体験イベント）

- ・会場
青海NOP区画、石と光の広場・花の広場、有明ガーデン、海の森水上競技場等

・予定内容

約30種類のスポーツ・VR体験、BMXなどの競技デモンストレーション、キッチンカーやトークショー等



※F地図データ(国土院提供) ©OpenStreetMap contributors/Mapbox

(2) 国際スポーツ大会の誘致・開催支援

東京のスポーツ振興及び都市のプレゼンスの一層の向上を図るため、都内で国際スポーツ大会の開催を目指す競技団体等に対し、大会の誘致活動や開催を支援する。

【令和4年度支援事業の概要】

	誘致支援（令和2年度から開始）	開催支援（令和3年度から開始）
主な申請要件	①都内で開催 ②国際競技連盟が主催・公認し、公益財団法人日本オリンピック委員会・公益財団法人日本スポーツ協会・公益財団法人日本パラスポーツ協会・日本パラリンピック委員会の各加盟競技団体が主催・共催・主管 ③観客1万人以上又は参加国10か国以上 ④都と連携したスポーツ振興事業の実施（観戦招待等） ⑤令和5年度末までに開催地が決定	①～④同左 ⑤令和4年度内の東京開催が決定している大会
支援内容	経費支援（上限400万円）※、応援レターの発出等	経費支援（誘致支援額を含め、上限3,000万円）※、東京都広報媒体による大会PR等
対象経費	誘致活動に係る経費（広報宣伝費、印刷製本費、翻訳費、渡航費・宿泊費等）	会場関係費（会場借上費、会場設営費及び機材費）、警備・安全対策費（コロナ対策費を含む）、競技運営費、広報宣伝費、その他大会開催に不可欠な経費

※経費支援は対象経費の2分の1を支援

【令和3年度実績】

（誘致支援）

競技	大会名	開催時期	会場
視覚障害者柔道	IBSA Judo Asian and Oceanian Championships Tokyo 2023	2023年 ※ 申請時点の予定	未定

（開催支援）

競技	大会名	開催時期	会場
ボート	オリンピック・パラリンピックアジアオセアニア大陸予選	令和4年5月6日～7日	海の森水上競技場

(3) 2025年世界陸上競技選手権大会の開催準備

令和4年7月14日（現地時間）、アメリカ合衆国オレゴン州ユージーン市で開催されたワールドアスレティックスのカウンシル会議において、令和7（2025）年に開催される世界陸上競技選手権大会の開催地が東京に決定した。東京都は、大会の成功に向け、これまで培ってきた国際スポーツ大会の運営ノウハウを生かし、関係者とともに積極的に取り組んでいく。

(4) 第25回デフリンピック競技大会の開催準備

東京都は、令和7（2025）年に開催される第25回デフリンピック競技大会の招致に向け、国や競技団体など様々な関係者と密に連携し、招致主体である一般財団法人全日本ろうあ連盟を積極的に応援してきた。

令和4年9月9日、10日にかけてオーストリアで開催された世界ろう者スポーツ委員会（ICSD）総会において、令和7（2025）年大会の開催地が東京に決定された。今後も、関係者と密に連携しながら取り組んでいく。

（令和4年9月10日現在）

4 大会後のレガシーの継承

(1) 東京2020大会1周年記念事業

東京2020大会は、多くの方の協力を得て開催することができた。

大会1周年の機会を捉え、大会開催への協力に対する感謝を伝えるとともに、大会開催の意義、感動や記憶を共有し、大会のレガシーを未来へとつなげていくことが重要である。

このため、「東京2020大会1周年記念～TOKYO FORWARD～」として、スポーツイベントを実施する。

ア 東京2020大会1周年記念イベント

(ア) セレモニー

日時：令和4年7月23日（土）17：00～18：40

場所：国立競技場（東京都新宿区霞ヶ丘町10-1）

主催：東京都

共催：公益財団法人日本オリンピック委員会

公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会

参加方法：事前申込・抽選制／無料

内容：・オープニングアクト（競技デモンストレーション等）

- ・アスリートやボランティア等による入場パレード
- ・アスリートと一般の方との混合チームリレー
- ・アーティストによるライブパフォーマンス ほか

その他：DXを活用し、YouTube配信やリモート観覧企画も実施

来場者：15,118人



(イ) 競技体験

【DAY 1】

日時：令和4年7月23日（土）10：00～17：00

場所：国立競技場（東京都新宿区霞ヶ丘町10-1）

参加方法：無料（当日受付制）

- 内容：
- ・競技体験（BMX、ボート（パラリンピック））
 - ・デジタル競技体験（VR車いすレーサー、AIを活用した体力テスト）
 - ・東京2020大会の開会式衣装やメダリストサイン入りグッズ等の展示
 - ・文化体験、被災地復興情報の発信、大会マスコット出演 など

来場者：16,803人

【DAY 2】

日時：令和4年7月28日（木）11：00～18：00

場所：立川ステージガーデン（東京都立川市緑町3-3）

参加方法：無料（当日受付制）

- 内容：
- ・競技体験（スポーツクライミング、パラ柔道、ボッチャ）
 - ・デジタル競技体験（VR車いすレーサー、AIを活用した体力テスト）
 - ・東京2020大会の開会式衣装やメダリストサイン入り競技用具等の展示
 - ・大会マスコット出演（ラジオ体操含む） など

来場者：2,359人



イ 東京2020パラリンピック周年記念事業（再掲）

パラリンピックを開催した8月・9月を「TOKYOパラスポーツ月間」と位置付け、多様な主体と連携し、パラスポーツ親善試合やイベントなど様々な取組を集中的に展開することで、東京大会の感動と記憶を共有するとともに、パラスポーツムーブメントの更なる発展につなげる。

ウ 東京レガシーハーフマラソン2022（再掲）

東京2020大会のレガシーを末永く残していけるよう、パラリンピックマラソンコースを活用した「東京レガシーハーフマラソン」を一般財団法人東京マラソン財団とともに2022年秋に創設。

本大会は、障害のある方を含め、一般ランナーからエリート選手まで多くのランナーが

参加しやすいハーフマラソン大会とし、第1回をI O Cと協力して「セレブレーションマラソン」として実施。あわせて、I O Cが、子供たちとトップレベルのアスリートが交流し、オリンピックの価値を体験できるスポーツイベント「Thank you Tokyo!」を開催する。

※ 東京レガシーハーフマラソンについては、一般財団法人東京マラソン財団（主催）との共催により実施。

【東京レガシーハーフマラソン2022】

・日 程 令和4年10月16日（日） ※以降、毎年10月第3日曜日に開催

・定 員 1万5,000人

・コース

国立競技場スタート～富久町～水道橋～神保町～神田～日本橋（第1折り返し）～神田～神保町～大手町・内堀通り（第2折り返し）～神保町～水道橋～富久町～国立競技場フィニッシュ（日本陸上競技連盟公認コース、WA認証コース）

【東京レガシーハーフマラソンEXPO 2022・ランナー受付】

・日 程 令和4年10月14日（金）、15日（土）

(2) 東京2020大会アーカイブ資産等の活用

メダル、聖火リレーのトーチ等の記念品や記録等のアーカイブ資産について、アーカイブ資産協定、アーカイブ資産等活用方針等に則って適切に保存・管理、利活用し、大会の感動と興奮を分かち合うとともに、未来へ伝え、身近に感じてもらうことで、大会の成果や感動を確かなレガシーとして、将来に引き継いでいく。

ア アーカイブ資産

アーカイブ資産は、大会の準備・運営等に伴って作成・利用された資産のうち、歴史的な価値を有し、大会の記憶・記録を伝えていくものである。

大会後には、その権利者であるI O C及びI P Cの承認の下、長期的に保存・管理し、後世に受け継いでいくべき重要なレガシーとなる資産であり、アーカイブ組織であるJ O Cに承継された。

都は、アーカイブ資産を適切に管理することを目的に設置されたアーカイブ管理委員会の委員として、J O C、J P Cとともにその役割を果たすとともに、J O Cから一部資産の寄託を受け、開催都市として、アーカイブ資産を適切に保存・管理・利活用していく。

アーカイブ資産は、8つのカテゴリーに分類され、主な資産は下記表のとおりである。原則展示のみに使用でき、触れることができない資産である。

<アーカイブ資産のカテゴリーと資産例>

カテゴリー	資産例
聖火リレー	聖火リレートーチ、ランタン 等
開閉会式・表彰式	メダル、表彰台、衣装、大道具、小道具 等
ユニフォーム	ボランティアユニフォーム、技術役員ユニフォーム 等
競技用備品	公式球、ゴールテープ、胴着一式 等
ライセンス商品	衣類、ピンバッジセット、ぬいぐるみ 等
イベント関連制作物	フラッグツアー関連制作物、マスコット 等
装飾物、標識類	のぼり、フラッグ、ピクトグラム 等
記録・報告書等	大会報告書、チラシ、ポスター、小冊子、 マニュアル、各種計画、映像 等

イ これまでの取組

- 令和3年8月8日 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会アーカイブ資産協定締結
- 令和3年9月～ 都、組織委員会、JOC、JPCによるアーカイブ管理委員会を開催
- 令和3年11月～ アーカイブ資産等の活用に係るアドバイザリー会議開催（全3回）
- 令和4年5月31日 東京2020大会アーカイブ資産等活用方針策定

ウ 現物資産

都庁舎を始めとする都有施設や各種イベント等において、施設の来場者やイベントの特性に合わせた資産の展示を行う。また、関係自治体等においても資産の展示ができるよう資産の貸出しを行う。

各資産の特性に合わせた適切な環境の下、将来に向かって適切に保存・管理していく。

なお、都は、大会の開催を記念して組織委員会から寄贈を受けた競技用備品等の手で触れることができる資産もともに活用することで、地域や教育現場など都民に身近な場所や方法で大会の記憶・記録を伝えていく。

エ 文書資産

文書資産とは、アーカイブ資産のうち開催都市契約やアーカイブ協定等に基づき、国内関係者に承継された、大会の準備・運営に関する文書である。

このうち、広く国内で利活用することが可能な大会の歴史的・社会的意義を伝える文書については、都が承継し、都立中央図書館にて一般公開する予定である。

オ ボランティアレガシー

東京2020大会を契機に高まったボランティア気運を一過性のものとせず、大会後も着実に維持・継続を図るため、東京2020大会1周年記念事業を始めとする各種イベントにおいて、ボランティアに活動機会を提供する。

ボランティアの募集は、イベント開催の告知と併せて行うだけでなく、大会関連ボラン

ティア（シティキャスト・フィールドキャスト）約25,000人に案内のメールを送付するとともに、東京ボランティアレガシーネットワークに募集記事を掲載して行っている。また、日本財団ボランティアセンターとも連携し、フィールドキャストへのメールマガジンを通じて周知するなど多様なチャネルを活用している。

また、イベント時は、東京2020大会でのボランティア運営のノウハウを活用しながら運営を行い、活動後は参加したボランティアにアンケートを取り、今後の活動への参考とする。

<令和4年度の活動状況>

日付	イベント	活動内容	活動人数
7月23日 28日	東京2020大会1周年記念セレモニー	パレード誘導、 競技体験の来場者案内等	211名
7月23日	カヌー・スラロームセンター 再開業イベント	来場者案内、 フォトスポット案内等	46名
7月30日 31日	有明アーバンスポーツパーク スケートボード都民体験会	アーカイブ展示紹介	16名
8月20日	TOKYOパラスポーツパーク in 駒沢	受付、場内・場外誘導、 体験会サポート	29名
8月24日	東京2020パラリンピック 1周年記念イベント	来場者、参加者の誘導・座席案内、 コートのもップ掛けなど	154名



(3) レガシー設置物、オリンピック・パラリンピックパーク名称の付与

東京2020大会の感動と記憶を後世に永く伝えていくため、大会の開催を記念するものをレガシーとして設置するとともに、大会開催を象徴するエリアにオリンピック・パラリンピックパーク名称を付与する。

ア レガシー設置物

(ア) 銘板

東京2020大会で使用した都立の競技会場等に、大会エンブレム等を活用した銘板を設置する。

<設置場所一覧>

競技会場	1	東京体育館	2	東京国際フォーラム	3	武蔵野の森 総合スポーツプラザ
	4	東京スタジアム	5	武蔵野の森公園	6	有明アリーナ
	7	有明体操競技場	8	有明アーバンスポーツパーク	9	有明テニスの森
	10	お台場海浜公園	11	潮風公園	12	青海アーバン スポーツパーク
	13	大井 Hockey 競技場	14	海の森クロスカントリーコース	15	海の森 水上競技場
	16	カヌー・スラロームセンター	17	夢の島公園アーチェリー場	18	東京アクアティクス センター
	19	東京辰巳 国際水泳場				
競技会場 以外	1	選手村 (晴海ふ頭公園)	2	IBC/MPC (東京ビッグサイト)	3	練習会場 (東京武道館)



※ その他、区市町村が、自転車ロード、パラマラソンコース上や、競技会場以外の大会関連場所（聖火リレー、練習会場、事前キャンプ地等）に銘板を設置している。

(イ) 大規模展示物

オリンピック・パラリンピックシンボルは、大会期間中に設置した7か所のうち、区部及び多摩地域における象徴的な場所として設置した臨海部と高尾山周辺に3つを再設置する。大会マスコット像について、都が大会期間中に設置した13か所全てに再設置する。

<設置場所一覧>

	設置場所		管理者
シンボル	1	①東京都庁（第一本庁舎：オリンピック） （第二本庁舎：パラリンピック） ↓※公園整備後移設 ②有明オリンピック・パラリンピックパーク	都
	2	東京国際クルーズターミナル	都
	3	TAKAO599ミュージアム	八王子市
マスコット像	1	東京都庁舎（第一本庁舎）	都
	2	東京スポーツスクエア	都
	3	東京アクアティクスセンター	都
	4	有明アリーナ	都
	5	武蔵野の森総合スポーツプラザ	都
	6	東京体育館	都
	7	日本オリンピックミュージアム	JOC
	8	八王子市富士森公園	八王子市
	9	調布市総合体育館	調布市
	10	青梅市総合体育館	青梅市
	11	秋川体育館	あきる野市
	12	奥多摩文化会館	奥多摩町
	13	大島町図書館	大島町



(ウ) 有明聖火台（競技期間用聖火台）

東京2020大会期間中、東京臨海部夢の大橋有明側に設置した競技期間用聖火台を、



令和4年10月に、シンボルプロムナード公園（石と光の広場横）に再設置する。都が大会の貴重なレガシーとして管理し、臨海部の新たな賑わい創出の要素として活用する。

(エ) 休戦ムラール・パラリンピックムラール

東京2020大会期間中、多摩産材を活用し選手村に設置したオリンピック休戦ムラール及びパラリンピックムラールを、平和や共生のメッセージと選手の活躍、多摩産材の魅力を発信できる大会のレガシーとして、都有施設等に設置する。

<設置場所一覧>

		設置場所	管理者
休戦 ムラール	1	有明展示場（旧有明体操競技場）	都
	2	東京スポーツスクエア	都
	3	檜原都民の森（木材工芸センター）	都
	4	晴海特別出張所（仮称）等複合施設3階図書館内	中央区
	5	日本オリンピックミュージアム	JOC
パラリン ピック ムラール	1	東京都パラスポーツトレーニングセンター （東京スタジアム内）	都
	2	東京都人権プラザ	都
	3	日本オリンピックミュージアム	JOC

※ オリンピック休戦ムラールとは、選手等が平和への祈りを込めてサインすることができるモニュメント。パラリンピックムラールとは、選手等が障害者の権利推進と持続可能な共生社会実現への願いを込めてサインすることができるモニュメント。多摩産材を活用した休戦ムラール5基、パラリンピックムラール3基を都が製作し、各大会期間中、選手村に設置した。都知事やIOC・IPC会長、組織委員会会長等で署名式を行い、世界にメッセージを発信した。



イ オリンピック・パラリンピックパーク名称の付与

(ア) 概要

IOC及びIPCと協議を行い、有明エリア及び武蔵野の森エリアにそれぞれ「有明オリンピック・パラリンピックパーク」「武蔵野の森オリンピック・パラリンピックパ

ーク」という名称を付す。

(イ) パークエリア

次のエリアをオリンピック・パラリンピックパークとしている。

●有明オリンピック・パラリンピックパーク	●武蔵野の森オリンピック・パラリンピックパーク
<p>東京2020大会競技会場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有明アリーナ ・有明体操競技場 ・有明アーバンスポーツパーク 	<p>東京2020大会競技会場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野の森総合スポーツプラザ ・東京スタジアム ・武蔵野の森公園
